

SWiTCH

**東京都環境審議会
企画政策部会**

2025.02.14

ABOUT SWITCH

一般社団法人SWITCH 代表理事

さ ざ ま な
佐座 槇苗



出身

- ・1995年生まれ。福岡出身。

学歴

- ・カナダ ブリティッシュ・コロンビア大学 人文地理専攻都市学マイナー 卒
- ・ユニヴァーシティ・カレッジ・ロンドン大学院 サステナブル開発 卒

略歴

- ・COP29（2024年）日本政府団若者代表
- ・COP28（2023年）日本政府団若者代表
- ・COP26（2021年）日本政府団若者代表
- ・2021年に一般社団法人SWITCH設立
- ・Mock COP26 グローバルコーディネーターとして、COP26で140カ国の若者に呼びかけ、気候変動教育の義務化を呼びかけ注目を浴びる
- ・エレンマッカーサー財団2021若手リーダー選抜メンバー

受賞

- ・2023年 Forbes JAPAN 30 UNDER 30

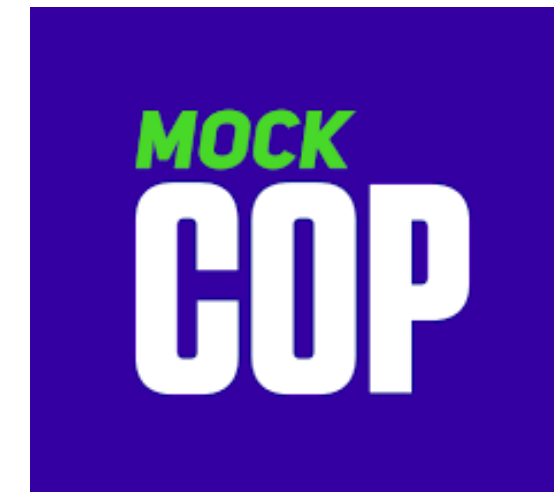
特任

- ・2024年 日本学術会議連携会員（特任）に就任

コロナ禍でCOP26が1年延期に 世界の若者、国際会議「Mock COP (模擬COP)」 2週間開催



世界140カ国、2000名から
330名の
環境専門の若者が参加



佐座：アジア51カ国をまとめる
グローバルアンバサダー

COP26

COP26で「教育サミット」も開催 日本を含む20カ国以上が気候変動教育に署名



SWiTCH

地球1つで暮らしていくために



若者が中心となり、世代・業界・国境を越えて共創するプラットフォーム

- 1 世界の潮流を日本へ
- 2 トップランナーとの対話
- 3 次世代環境リーダー育成
- 4 自治体・企業との共創



さ ざ ま な
佐座 慎苗

一般社団法人SWiTCH 代表理事

1995年生まれ。ユニヴァーシティ・カレッジ・ロンドン大学院 サステナブル開発専攻 卒業。2020年 COP26 日本ユース代表。Mock COP26 グローバルコーディネーターとして140カ国の若者に呼びかけ、COP26で環境教育サミットを開催、国際的に注目を浴びる。2021年 一般社団法人SWiTCHを設立。2022年 ストックホルム+50 日本若者代表として参加。2023年 Forbes JAPAN 30 UNDER 30に選出される。COP28,29に日本政府団として参加。

SWITCH 活動紹介

1 世界の潮流を日本へ サステナブルの最新情報を日本に共有



COPに日本政府団として参加 子供のCOP見学会

SWITCHからさまざまな国際会議に若者を派遣。
COP28に日本政府団として5名を派遣し、ジャパ
ン・パビリオンでセミナーを主催。

<実績>

- 2024年 Global Sustainable Development Congress
- 2023年 COP28 5名派遣 / ドバイ
- 2023年 東京北京フォーラム日本代表
- 2022年 Stockholm +50 5名派遣 / ストックホルム



COPの最新情報を渋谷から発信 「SHIBUYA COP」

毎年COP開催直後に「SHIBUYA COP」を開催。
COPに参加した日本企業メンバーが登壇し、COP
会場の熱気と最新情報を生の声で伝えます。

<実績>

- SHIBUYA COP 2023
- SHIBUYA COP 2022
- SHIBUYA COP 2021



国連環境計画と教材作成 「1.5°C CHALLENGE」

国連環境計画(UNEP)が世界のすべての若者に知らせ
るために作成した『GEO-6 for Youth』の翻訳を担
当。多くの人に手軽に学んでもらうため、オンライ
ンコースを作成。

日本の人口の3.5%=440万人への普及を目指し、
「チャレンジ1.5°C PROJECT」を推進しています。

SWITCH 活動紹介

2

トップランナーとの対話

国際的に活躍するトップランナーと若者の対話の場



スウェーデン大使 x VOLVO



元京大総長 山極先生



トヨタ CSO



渋谷区 長谷部区長



明治株式会社



日立製作所

「SWITCH TALKS WORLD & Japan」

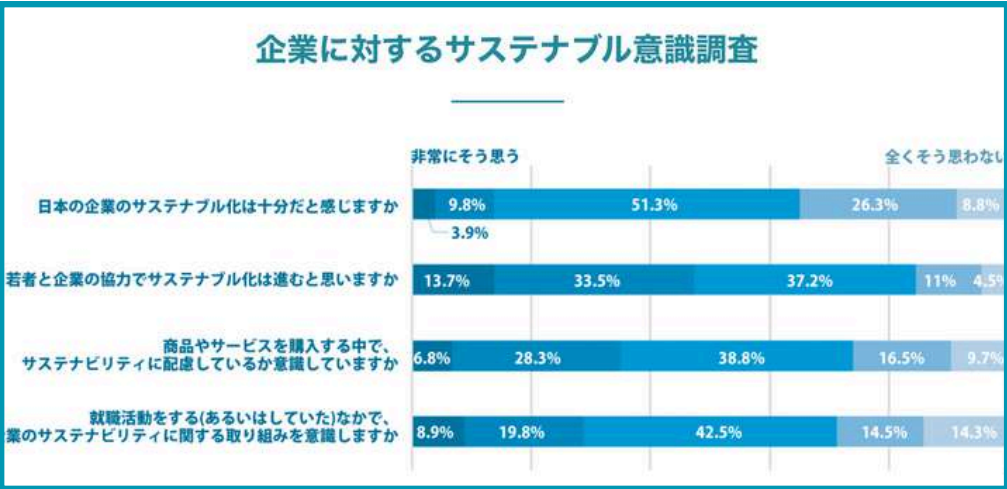
「SWITCH CHAT for actions」

サステナブル先進国の大使、企業リーダー、アカデミアとのトークセッションやMEETUPを企画。若者が本気で社会を変えているトップランナーと直接対話することで、その情熱や価値観に触れる機会を提供しています。

<実績>

- 2022-2023年 スウェーデン大使
- 2023年 東京大学 水域保全学研究室教授 安田仁奈氏
- 2023年 総合地球環境学研究所所長 山極壽一氏
- 2023年 TETRA PAK Japan CEO
- 2023年トヨタ自動車株式会社 CSO
- 2022年日立製作所
- 2022年明治株式会社
- 2022年 IKEA Japan CEO
- 2022年 Volvo Japan CEO
- 他

3 次世代環境リーダー育成 国際的に活躍できるサステナブル人材の育成



日本財団との意識調査

調査を通じて「日本がサステナブルな社会になるために必要なものを分析」。サステナブル化の現状と課題を見出し、次のアクションにつなげます。

<実績>

日本財団助成【地球1つで暮らしていくために】意識調査2023



高校生対象出前授業

地球環境の未来を担う若者がサステナブル人材になるための育成ワークショップを開催しております。

<実績>

2024年 国連大学から委託、若者育成（英語開催）
2023年 九州知事会 県代表の高校生の育成
2023年 道立月寒高校 サステナブルワークショップ
他多数



小学校出前授業

渋谷区教育委員会・企業と連携し「地球1つで暮らせるための」ワークショップを実施。

- ・世界各地の小学生の今、学校での取り組み好事例
- ・教室でできる脱炭素ワークショップ
- ・まわりを巻き込むアクション

<実績>

渋谷区臨川小学校、渋谷区中幡小学校
渋谷区猿楽小学校、など

SWITCH 活動紹介

4 自治体・企業との共創

若者・大学・企業・自治体が世代と業界を越え、共創



札幌市とG7ソフトレガシーを企画 「サステナ KIDS アワード」

2023年、札幌市がG7気候・エネルギー・環境大臣会合の会場となったことをきっかけに、地球環境対策の勉強会と世代を超えた共創の機会として「若者との共創プロジェクト」をスタート。

若者が「地球1つで暮らすため」に社会で実現したいアクションを発信し、「若者 x 大学 x 自治体 x 企業」連携プロジェクトへつなげます。



渋谷の企業と脱炭素に取り組む 「Carbon Neutral Urban Design」

一般社団法人渋谷未来デザインの環境WG「カーボン・ニュートラル・アーバン・デザイン (CNUD)」の事務局として、最新の脱炭素技術や社会制度情報を紹介。渋谷区とも連携し、世界一サステナブルな街「渋谷」を目指します。



渋谷駅前からアートと環境情報発信 「Green Crossing Shibuya」

一般社団法人渋谷駅前エリアマネジメントと協定を結び、渋谷駅前の公共空間で、環境リテラシーを向上し、アクションにつなげる「Green Crossing Shibuya」を推進。

渋谷駅前のサイネージでは国連環境計画の教材をベースにした動画を放映。環境問題を幅広い層に伝え、渋谷を「消費の街」から「サステナブルを体験できる街」にシフトするために活動しています。 10

会社概要

SWiTCH

会社名： 一般社団法人 SWiTCH

組織形態： 非営利団体

設立年月日： 2021年1月6日

代表理事： 佐座 槇苗

所在地： 〒150-0002 東京都渋谷区渋谷2-19-15 宮松坂ビルディング609

事業内容： 環境啓蒙活動、環境教育事業、持続可能なビジネス支援

従業員数： 20名

主要パートナー： 一般社団法人渋谷駅前エリアマネジメント、一般社団法人渋谷未来デザイン、Future Earth 他

主要プロジェクト： SHIBUYA COP、チャレンジ1.5℃、若者との共創プロジェクト 他

お問合せ： contact@switch.bio

会社HP： <https://switch.bio/>

都への提案・期待

1. 分野横断的な取り組み強化:

- 気候変動対策と生物多様性保全を統合し、都市緑化による炭素吸収源拡大など推進
- 資源循環と気候変動適応を結び付けた廃棄物削減・再利用プロジェクトを展開
 1. Nature Positive × GXの統合的アプローチ
 2. J-startupなどのスタートアップ支援プログラムと連携した環境技術イノベーション創出

2. 市民・事業者との協働深化:

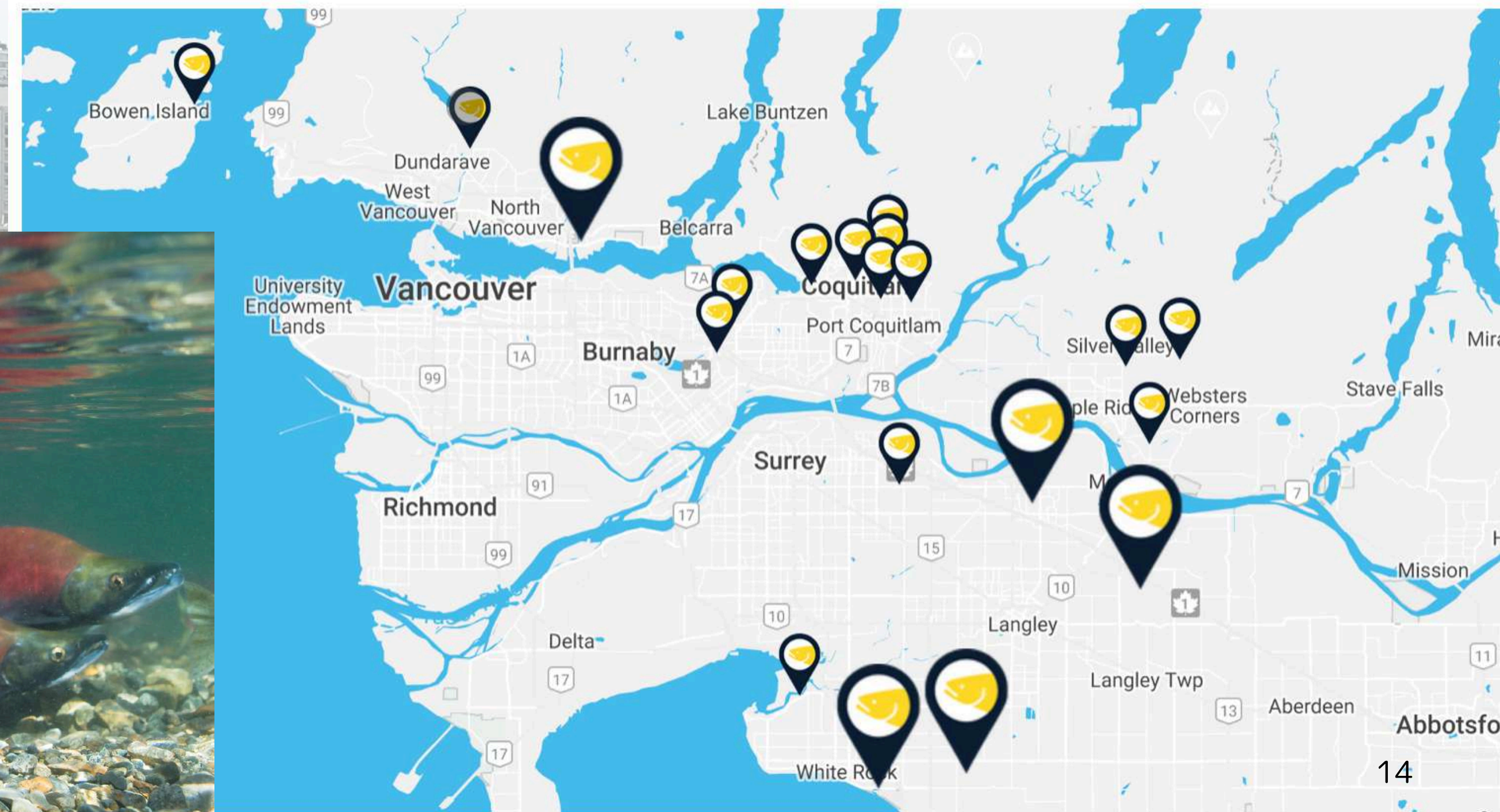
- 行動変容促進キャンペーンやインセンティブ制度（例：税制優遇）で市民/事業者の参加を拡大
- 環境教育の強化・推進

3. 国際的な連携強化:

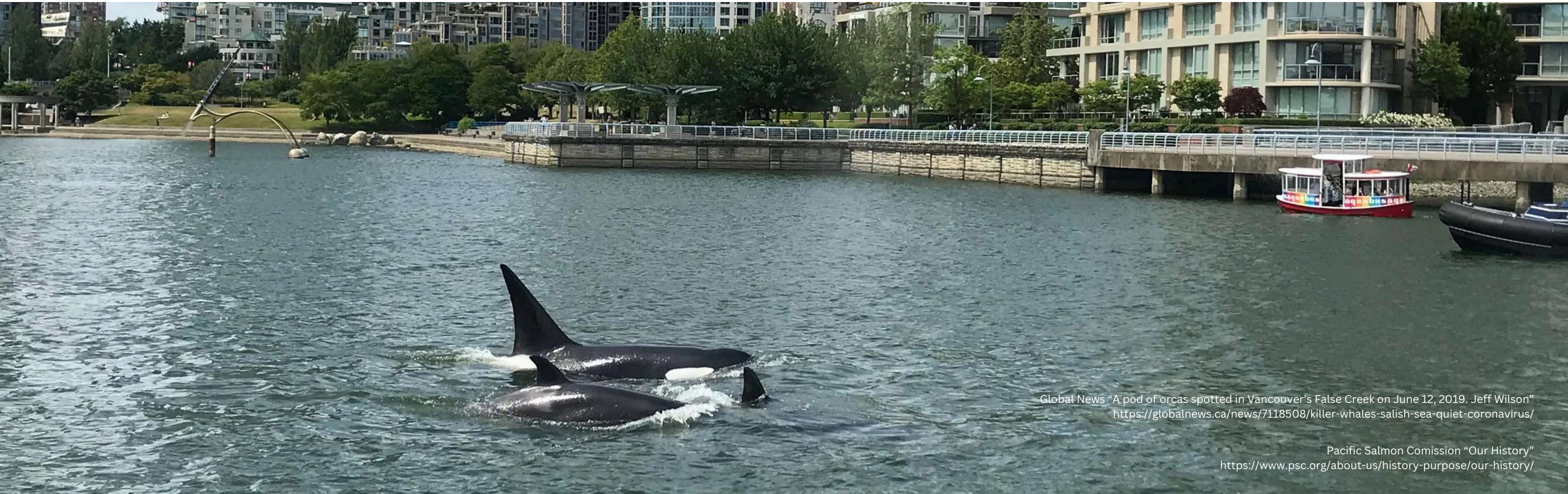
- 他都市との共同で、
 - ①グリーンインフラ構築などのPJを推進し、東京都独自モデルを構築・発信
 - ②Nature Positive（自然）とビジネスの調和を図るまちづくり指標の策定とグローバル発信
- "Tokyo Nature Tech City"構想の展開（先進的な環境技術と自然との調和を象徴するブランディング戦略の推進など）

生物と共に生きる東京
「人間も生き物だった！」

1957年～サーモンの保全スタート



2010年 サーモンの保全でシャチも街に戻ってきた



Global News "A pod of orcas spotted in Vancouver's False Creek on June 12, 2019. Jeff Wilson"
<https://globalnews.ca/news/7118508/killer-whales-salish-sea-quiet-coronavirus/>

Pacific Salmon Commission "Our History"
<https://www.psc.org/about-us/history-purpose/our-history/>

河川沿いの環境改善、川の水質改善 サーモンを餌とするシャチも戻ってきた

2017年 市民の啓蒙活動



「人の心に森を作る」 王室の願いが込められた新たなバンコクの肺



<https://maps.app.goo.gl/zoqzMxeJ25SRob3p8>



<https://www.jat.or.th/jp/open-to-the-new-shades-detail.php?id=16>

「人の心に森を作る」 王室の願いが込められた新たなバンコクの肺



ベンジャキティ森林公園プロジェクト（フェーズ2--3）には4カ所の貯水池があり、500以上の小島が池に設けられています。故ラーマ9世王が設計された水車がすべての貯水池に設置されるとのこと。ベンジャキティ公園と Lumpini Park を結ぶスกายウォーク「緑の橋」が、今後ラチャダーピセーク通りまで延伸され、全長1.6kmのウォーキングもサイクリングも楽しめるコースになる予定です。

ベンジャキティ公園基本情報

- A 公園フェーズ1：面積9.76ha。
- B 公園フェーズ2-3：面積41.44 ha、2022年完成予定。
- C 貯水池：面積20.8 ha、貯水容積128,000m³。
- D 自然博物館、歴史博物館、屋内運動場など。

「人の心に森を作る」 王室の願いが込められた新たなバンコクの肺



ジョギング・サイクリング・散策

公園内に約3 kmのジョギングレーンと3.5 kmのサイクリングコースがあります。



スカイウォーク

湿地の上に歩かないように橋が設置されている。



博物館・図書館・屋内運動場等の施設

タイ固有の樹木や昔から地域に自生している樹々などに関する自然博物館、シリキット皇太后歴史・芸術博物館、図書館、屋内運動場、イベント広場(15,000名)、モデル田園など様々な施設が設置。

「人の心に森を作る」 王室の願いが込められた新たなバンコクの肺





- 緑の屋根や壁の整備は、蜜蜂を引き寄せ、都市の生態多様性に寄与
- 都市の緑地を計画する際に、蜜蜂にとって魅力的な植物の連結した回廊を作成
- 蜜蜂が都市を効果的に移動でき、彼らの採食範囲を広げる環境作り

キーストーン種 ミツバチのための屋上緑化と回廊



California Honey Festival
<https://californiahoneyfestival.com/#>

蜂について知らせる「ハチフェス」
カルフォルニアハニーフェスティバル（ラボ、子供WS、はちみつ酒、はちみつ料理、エンタメ）

Wolfgang Buttress: The Hive (Kew Gardens, UK)



<https://www.wolfgangbuttress.com/the-hive-at-kew>

蜂の巣をモチーフにしたアート体験

グリーンな場所に集まりたくなる
「市民の楽しみ」



ロンドン：ハイドパーク



メキシコシティ：毎週日曜8:00~14:00 車にさよなら
(健康的な生活と外をエンジョイ)



ロンドン：コロンビアロードフラワーマーケット
毎週末



ロンドン：ハイドパーク
Winter Wonderland



ロンドン：ハイドパーク
BST Music Festival



ロンドン：ハイドパーク
Race for the Kids



ロンドン：ハイドパーク
Serpentine Gallery

東京は脱炭素の先にある
NATURE POSITIVEと
どう向き合う？

THANK YOU

SWiTCH

2025.02.14